

平成27年度新潟市美術館事業報告

I 展覧会事業

1. コレクション展

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
7月19日～ 10月9日	コレクション展Ⅰ 「Hi, stories!」	Storyを手掛かりに、新潟市美術館が紡いできた「ものがたり」を読みひらく展示。来館者からリクエストの多い作品と、前川建築設計事務所、デザイナーの服部一成氏、天童木工の関連資料を合わせ、重層的な構成を行った。	12,641	73	173
10月14日～ 1月17日	コレクション展Ⅱ 「東と西がであうとき」	同時期に開催される「川村清雄展」にあわせて、東洋／日本と西洋の、美術におけるさまざまな出会いが生んだ作品を紹介した。	5,479	70	78
1月5日～ 1月31日	コレクション展 特別編 「第四銀行のコレクション」	平成27年4月、第四銀行から36点の美術品が寄託されたことに伴い、その披露を兼ねて開催。寄託外の五姓田芳柳、小林古径、横山操の作品も特別出品として合わせて紹介した。企画展示室3で開催。	2,519	24	105
1月23日～ 4月5日	コレクション展Ⅲ 「悪い絵？」	絵の良し悪しを決める判断基準は、何か？という疑問を切り口に、美術における様々な「悪」を、「退廃芸術」や「盗用・引用」など5つの章に分けて構成した。	3,502	53	66
合計			24,141	220	110

2. 企画展

(延人数単位:人、金額単位:千円)

期間	事業名	内容	観覧者		
			観覧者	開催日数	1日平均
7月19日～ 9月23日	リバプール国立美術館所蔵 英国の夢 ラファエル前派 展	リバプール国立美術館の所蔵品から、ラファエル前派とその周辺の作家の作品65点を展示。名古屋市美術館、Bunkamuraザ・ミュージアム、山口県立美術館との共同企画の巡回展。 ＜新潟市美術館と新潟日报社、BSNIによる実行委員会が主催＞	16,800	60	280
			7,039／23,807 29.6%		
11月3日～ 12月20日	川村清雄展 —古今・東西・混ざり合い—	初代新潟奉行の祖父・修就を通じて新潟に縁のある川村清雄は、明治初めに渡欧し油彩画に通じた画家。幕末から昭和の激動期を生きた川村とその時代をたどった自主企画展。 ＜新潟市美術館とNSTによる実行委員会が主催＞	3,901	42	93
			3,321／12,660 26.2%		
2月13日～ 4月10日	アナタにツナガル	言語や文化など見えない境界を越えてゆくアートの挑戦を、現代美術作家の折元立身や岩井成昭の仕事に加え、新潟出身の神林美樹、田中仁ら障がいのあるアーティストの作品より紹介した自主企画展。 ＜新潟市美術館の単独主催＞	2,650	50	53
			1,418／8,961 15.8%		
合計			23,351	152	154
			1,1778／45,428 25.9%		

3. 新潟市美術展(貸館)

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
10月14日～18日 21日～25日	第47回新潟市美術展	新潟市に在住・通学・通勤している市民の作品による展覧会	6,500	10	650

II 教育普及事業

1. コレクション展開連

※特記のないものは展示室にて開催

(延人数)

展覧会名	事業名	内容	参加者数
コレクション展Ⅰ	トークイベント 「美術館でデザインを考える」	服部一成氏(グラフィックデザイナー)、安東孝一氏(ANDO GALLERY、プロデューサー)による対談 9月13日 14:00～ 講堂で開催	40
	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(7/25、8/22、9/26)各日14:00～ 3回	37
コレクション展Ⅱ	ミュージアム・コンサート 「交わる地平、響き合う個性」	出演:川嶋哲郎氏(サクソ・フルート)、竹澤悦子氏(箏・地歌三味線) 11月28日 19:00～ 常設展示室で開催	40
	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(10/24、11/28、12/26)各日14:00～ 3回	14
第四銀行の コレクション	特別講座「銀行とアートの関係史—メディチ銀行から第四銀行まで」	講師:松沢寿重学芸係長 1月24日 14:00～ 講堂で開催	23
コレクション展Ⅲ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(1/23、2/27、3/26)14:00～ 3回	65
合計			219

2. 企画展開連

※特記のないものは当館講堂にて開催

(延人数 単位:人)

企画展名	事業名	内容	参加者数	
ラファエル前派展	講演会「新潟開港とイギリス」	講師:青柳正俊氏(新潟県立歴史博物館副館長) 7月26日(日)14:00～	38	
	講演会「ラファエル前派とヴィクトリア朝社会—芸術・産業・生活」	講師:荒川裕子氏(法政大学教授) 8月2日(土)14:00～	52	
	講演会「ラファエル前派とロマン主義」	神林恒道氏(新潟市會津ハル記念館館長) 8月23日(日)14:00～	42	
	講演会「物語るイギリス絵画—ホガースからホックニーまで」	講師:塩田純一(新潟市美術館館長) 9月6日(日)14:00～	23	
	ロビーコンサート 「おんがくのタベ」	第1夜/出演:笹原美香氏(ソプラノ)、岩下周二(ピアノ) 8月10日	18:30～ 常設展ロビー	40
		第2夜/出演:笹原美香氏(ソプラノ)、岩下周二(ピアノ) 8月11日		60
		第3夜/出演:関 敦子氏(ピアノ) 8月14日		80
第4夜/出演:関田桂子氏(ピアノ)、大石 航氏(チェロ) 8月15日		100		
ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説(7/19、8/9、16、30、9/13、20)6回 14:00～ 企画展示室	213		
川村清雄展	ご近所ツアー 「ナガタカ・クエスト」	案内人:野内隆裕氏(日和山五合目館長、路地連新潟メンバー) 11月8日(日) 9:30～ 当館周辺の徒歩圏内で開催	16	
	講演会「川村清雄、人と仕事」	講師:丹尾安典氏(早稲田大学教授) 11月14日(土) 14:00～	43	
	講演会 「初代新潟奉行・川村修就の治政」	講師:中野三義氏(新潟奉行川村修就研究家) 11月22日(日) 14:00～	47	
	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説(11/15、29、12/5、6、12、13、19、20)8回 14:00～ 企画展示室	253	
アナタにツナガル	折元立身パフォーマンス 「BREAD MAN Meets THE BLIND」	出演:折元立身氏(出品作家) 2月13日(土) 14:00～ 企画展示室で開催	76	
	トーク 「障がいとアート つくるをささえる／つくるをつなげる」	出演:角地智史氏(アートキャンプ新潟) 聞き手:塩田純一(当館館長) 2月28日(土) 14:00～	59	
	アーティストトーク 折元立身	出演:折元立身氏(出品作家) 3月6日(日) 14:00～ 企画展示室で開催	20	
	アーティストトーク 岩井成昭×ナシモトタオ	出演:岩井成昭氏(秋田公立美術大学教授)、ナシモトタオ氏(映像作家/国際映像メディア専門学校映画プロデューサー科科長) 3月13日(日) 14:00～	34	
	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説(2/21、3/27)2回 14:00～ 企画展示室	24	
合計			1,500	

3. 学校向け教育普及事業

①ARTRIP(来館前の出張授業と来館鑑賞授業を組み合わせたプログラム)

(単位:人)

実施日	実施校	内容	参加者数		
			児童・生徒	一般 (含教職員)	合計
7月13日 7月22日	新潟西特別支援学校	中学3年生の生徒と「ラファエル前派」展の対話型鑑賞を行った。	9	5	14
7月24日 7月31日	亀田西中学校	美術部の生徒と「ラファエル前派」展の作品を「物語」を意識しながら鑑賞した。	22	2	24
9月2日 9月9日	中野小屋中学校	「ラファエル前派」展の作品を印刷物との比較を通して鑑賞した。	36	2	38
10月7日 10月16日	東新潟中学校	グループごとにコレクション展Ⅱの作品を取り上げ対話型鑑賞を行った。	159	11	170
11月24日 11月27日	赤塚中学校	「川村清雄展」の作品を「日本的な絵とは何か」を意識しながら鑑賞した。	55	3	58
1月13日 1月14日	潟東東小学校	コレクション展Ⅱの作品鑑賞を通して「絵の中にかくれんぼ」というテーマで詩作を行った。	28	3	31
1月21日 1月26日	笹口小学校	コレクション展Ⅲの作品を、アートカードによる物語作りに取り組んでから鑑賞した。	33	1	34
2月16日 2月17日	松浜小学校	コレクション展Ⅲの作品を、アートカードによる物語作りに取り組んでから鑑賞した。	97	3	100
実施校計8校(出張授業8回、来館授業8回)		合計	439	30	469

②教職員視察ウィーク

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	参加者数
7月19日～26日	「ラファエル前派展」 「コレクション展Ⅰ」	新潟市内の幼稚園・保育園や学校の教職員から、企画展・常設展を視察してもらい、授業での美術館活用・利用に役立ててもらったり、児童・生徒へ美術館や展覧会を紹介してもらったりするための視察・広報期間。	87
11月8日～15日	「川村清雄展」 「コレクション展Ⅱ」		7
1月10日～17日	「第四銀行のコレクション」 「コレクション展Ⅱ」		3
2月14日～21日	「アナタにツナガル展」 「コレクション展Ⅲ」		7
合計			104

③その他

期間	事業名	内容	参加者数
7月30日	新潟県高等学校図書館協議会 新潟地区司書教諭連絡会研修	「美術館活用術」をテーマに美術館利用のガイド及びラファエル前派展の見どころ紹介を行った。(美術館講堂で実施)	23
8月5日	市小研図画工作部鑑賞研修	美術館利用のガイダンスを行い、開催中のラファエル前派展の鑑賞と同展アートカードの体験実習を行った。(美術館講堂・実習室で実施)	63
8月19日	新潟市中学校授業づくり研修会 (美術)	鑑賞授業のプログラムの一例としてアートカードの実践研修を行った。(新潟市立総合教育センターで実施)	53

4. 美術講座

(単位:人)

実施日	講座名	講師	参加者数
8月15日(土)	オルタナティブスペースと美術館	高橋りほ学芸員	11
9月19日(土)	騎士とロマンス—世紀末芸術から楽しむアーサー王伝説	荒井直美学芸員	29
11月21日(土)	新しい建築には新しいインテリアを！ 近現代建築の内と外	星野立子学芸員	22
12月19日(土)	テイスト・オブ・脂(ヤニ) ～明治時代の「日本の洋画」～	藤井素彦学芸員	40
1月16日(土)	パンリアル美術協会について	上池仁子学芸員	9
2月20日(土)	七つの大罪から地獄絵図まで 美術における「善」と「悪」	山岸亜友美学芸員	65
3月19日(土)	「創庫美術館 点」の挑戦	松沢寿重学芸係長	31
実施計7回			合計 207

5. 実技講座

(単位:人)

実施日	講座名	内容	参加者数
11月7・14・21・28日	ウォーターレスリトグラフ講座 ～水をつかわないリトグラフ	講師:皆川徳志氏(版画家) 初心者から参加できる版画講座。製版プロセスが簡略化され、薬剤の使用も少なく、気軽にリトグラフの基礎を学ぶことができるウォーターレス・リトグラフを取り上げた。	21
合計			21

6. 子ども向け講座

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
8月4日	「たてもの探検隊」	バックヤードを美術作品の搬入経路に沿って巡った後、エントランスや常設前ロビー、本のラウンジなど、館内で建築家・前川國男のこだわりが観察できる場所を探検。	子ども 13 保護者 5
12月5日	「冬をかざるモバイル作り」	北欧フィンランドの伝統的な室内装飾ヒンメリをヒントに、冬の室内を飾るモバイル作りを行った。	子ども 21 保護者 15
実施計2回(2日)			合計 子ども 34 保護者 20

7. 気ままプログラム(ラウンジNでの自由参加・無料のワークショップ)

期間	事業名	概要
7月19日～10月25日	30周年リニューアル記念企画 MY MUSEUM ぼくのわたしのびじゅつかん	リニューアルオープンに合わせ、美術館の平面図を張り出し、付箋によるお気に入りポイント等の書き込みを募った。
11月3日～12月27日	みんなでつくるクリスマス☆	裸のクリスマスツリーを設置、美術館協会の協力などにより集めた廃材を利用し、思い思いに作ったオーナメントを飾り付けていただいた。
1月5日～4月10日	つながるわっか	「アナタにツナガル」展にちなみ、印刷会社等から提供を受けた紙の端材を輪にしてつなげていく共同制作を行った。

8. 博物館実習受け入れ

(単位:人)

期間	内容	参加者数
8月17日～8月30日	学芸員資格取得にかかる実習生の受け入れ	4

Ⅲ 調査研究事業

項目	内容
美術館年報	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。年1回発行。発行数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかに送付
研究紀要	美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして収載。新津美術館と共同で年1回発行。発行数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかに送付

Ⅳ 収集保存事業

1. 美術資料の収集

①購入

区分	作家名(点数)
絵画17点	丸山直文(17点)
写真50点	荒木経惟(50点)
計67点	

②寄贈

区分	作家名(点数)
絵画60点、版画307点、立体14点、写真2点	丸山直文(1点)、大瀧直平(3点)、石川直樹(2点)、中島千波(3点) 木村希八コレクション(71作家374点) 靨嘔3、相原求一朗3、赤塚祐二3、朝妻治郎1、天野純治5、飯島一次4、飯村悦生9、池田良二5、磯辺行久3、猪熊弦一郎1、榎倉康二1、大沢昌助1、岡本裕子1、小作青史47、織田廣喜1、小貫政之助1、オノサトシノブ2、恩地孝四郎1、片岡球子3、香月泰男2、桂ゆき1、加藤清美1、金子國義4、上矢津1、加山又造1、河内成幸5、北川健次3、木村希八99、木村茂24、清塚紀子2、草間彌生7、小泉俊己3、坂口寛敏2、櫻井尚9、篠田桃紅1、嶋田しづ2、島田章三1、清水登之1、末松正樹1、菅井汲1、谷川晃一27、豊福知徳1、中山正1、成田禎介1、野田哲也12、野田裕示2、平山郁夫5、深沢幸雄3、星野美智子1、堀浩哉1、前田常作2、水谷勇夫1、水船六州1、緑川俊一19、宮崎進1、村井進吾1、村井正誠2、山口源2、山口啓介1、山田正亮4、由木礼3、横尾忠則1、吉岡弘昭1、吉田克朗3、淀井彩子4、若江漢字1、金守子(キム・スジャ)1、鄭相和(チョン・サンファ)1、李禹煥(リ・ウファン)2、ジャン・リュルサ1、ジェラルド・ティテュス=カルメル2
計383点	

③管理替(新潟市総務課より)

区分	作家名(点数)
絵画1点	大岩オスカー(1点)
計1点	

2. 収蔵・展示環境保全／作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	収蔵庫、展示室の温湿度管理、収蔵庫の定期清掃(1回) 浮遊菌調査(4回)、捕虫トラップ調査(2回)を実施(※公益財団法人文化財虫菌害研究所へ委託)
作品管理	作品のデータベース化をすすめ、カードとデータの2元管理を行い、事務の効率化を図った。 また、30周年記念事業の一環で所蔵品目録を作成した。

V 施設普及事業ほか

項目	内容
リニューアル プレス発表会	7月1日、リニューアル・オープンに先駆けて、報道関係者や市民招待者、計100人を対象にプレス発表会を開催。講堂でリニューアルの概要を説明した後、館内の見学会を行った。 また、このプレス発表会に合わせて、美術館の概要パンフレット、リーフレット(日、英、中、韓、露 5か国語)、美術館だよりWave 26号を作成し、これらを取るためのペーパーフォルダもオリジナルデザインで用意した。
ミュージアム・ショップ、カフェの開設	リニューアルにあわせ、ショップとカフェの出店者公募を行い、あらためてミュージアム・ショップ「ルルル」をエントランスに、「こかげカフェ L'ombrage(ろんぷらーじゅ)」を喫茶室に開設。企画展に関連したオリジナルグッズの開発、販売や、テイクアウト可能なベーグルのセットメニューを新規展開した。
他施設との連携	〈目黒区美術館との連携〉 「新潟市美術館の名品たち」展(目黒区美:4/11~6/7)、「川村清雄展」(新潟市美:11/3~12/20)を通じた双方の所蔵品の大規模な交換、学芸員どうしの交流など
	〈新潟アートリンク:新潟県立近代美術館、県立万代島美術館、新津美術館との4館による連携〉 共通チラシの作成、スタンプラリーの実施、共通Webサイトの運用
	〈新津美術館との連携〉 ・研究紀要の発行(再掲) ・図録や絵はがきの相互販売 ・ホームページの相互リンク ・こどもスタンプカードの共通運用
	〈フルマチ・アート・スタジオとの連携〉 企画展「アナタにツナガル」で岩井成昭氏の《ナマエラボ》を協働
	〈西大畑・旭町界隈の文化施設(砂丘館、旧齋藤家別邸など)との連携〉 「古くてアートな」町歩きマップの作成、情報交換
	〈新潟市民映画館シネ・ウインドとの連携〉 映画『みんなのアムステルダム美術館へ』の上映に際し、コラボレーション企画「MUSEUM! MUSEUM!」を開催。映画のアフタートークで、塩田館長が新潟市美術館の改修のポイント、リニューアル・オープン後の見どころを紹介。
新潟市美術館協会との連携	・協会事務局の開催 年12回 ・解説会の開催「ふれあい美術館ガイド」 年7回 ・広報の支援 展覧会ポスター・チラシの分けなど 年4回 ・資料整理の支援 新聞記事スクラップ、図書の整理など 年37回 ・研修旅行の開催 年2回(県内日帰り1回、県外日帰り1回)

VI 新潟市美術館大規模改修事業

工事竣工(平成27年3月26日)後、リニューアル・オープンまでの間、空調機械等の試運転や、東京文化財研究所による展示保存環境調査を行った。

「新潟市美術館の今後の運営方針」に対する 平成27年度 実施概要

【構想の理念】 政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

1 「あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起す 「発見する美術館」
2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が 「学べる美術館」
3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る 「生きている美術館」
4 市民同士、地域の文化施設相互が 「つながる美術館」
5 高い質を保ち、市民が誇れる 「信頼の美術館」

【各論と具体策】

各論	具体策	理念との対応	平成27年度 実施内容	事業報告頁
コレクションの充実と有効活用	(1) コレクションの充実 ①新潟の昨日・今日・明日 ②19～20世紀の美術 ③21世紀の美術（国内中心）	【1】【5】	(ア) 美術資料の購入・寄贈作品の受け入れ 〈購入〉 67点 荒木経惟 写真50点、丸山直文 絵画17点 〈寄贈〉 383点 絵画、彫刻、写真など (内、木村希八コレクション374点) 〈管理替〉 1点 絵画1点	5
	(2) コレクション展の充実（多様な視点から光を当てる）		(ア) コレクション展の開催 年3回の展示替えを実施 特別コレクション展「第四銀行」の開催	1
	(3) 所蔵品に関する調査研究の深化と成果の公開		(ア) 美術館年報の発行 (イ) 研究紀要の発行 (ウ) コレクション展の開催（再掲）	5 5 1
	(4) 市内の他施設との連携（共同研究、資料貸借、共同展の開催など）	【4】	(ア) 県立近代美術館、万代島美術館との連携 共通チラシの作成、スタンプラリーの実施 (イ) 新津美術館との連携 研究紀要の発行（再掲）、 図録や絵はがきの相互販売 広報（ホームページで相互リンク） こどもスタンプカードの共同運用 （中学生以下、4個で景品プレゼント） (ウ) 西大畑・旭町界隈の文化施設（砂丘館、旧齋藤家別邸など）との連携 「古くてアートな」町歩きマップの作成 「和菓子」作成、企画展の企画連携	6 6 6 6
企画展の充実	①コレクションの特色を反映した展覧会の開催 ②地域において顕彰すべき作家を対象とした展覧会の開催 ③多様な分野の質の高い展覧会の開催 ④姉妹都市や環日本海諸国との交流など、海外の美術を対象とした展覧会の開催	【1】【3】 【5】	(ア) 年3回の企画展の開催 「ラファエル前派展」 「川村清雄展」 「アナタにツナガル展」	1

各論	具体策	理念との対応	平成27年度 実施内容	事業報告頁
市民に親しまれる美術館づくり	(1) 学校教育との連携 美術館での鑑賞体験をさらに深めるため、学校での学芸員による出張授業と美術館での鑑賞体験をセットで実施（アートリップ事業）	【2】【4】	(ア) アートリップ事業の実施 8校 469人 (イ) 教職員視察ウイーク参加者 延104人	3 3
	(2)生涯学習の場 ①コレクション展・企画展における展示作品解説 ②企画展関連事業（講演会、学芸員による関連講座 ミュージアムコンサートなど） ③美術講座（講堂を活用した美術に関する講座） ④実技講座（実習室を活用した作品制作の講座） ⑤市民ボランティアの解説員の育成	【2】【3】 【4】	(ア) 展示作品解説会の開催 16回 (イ) 企画展関連事業の開催 15回 (ウ) 美術講座の開催 7回 (エ) 実技講座の開催 1回 (オ) 美術館協力会解説部勉強会（毎月第2土曜日）の開催 7回	2 2 4 4 6
	(3)美術館を支援する市民（例として美術館協力会など）との連携	【4】	(ア) 美術館協力会との連携（広報作業、資料整理、解説会の開催（毎月第3日曜日））	6
文化観光・国際交流拠点としての美術館づくり	(1)発信力のアップ（ホームページの充実、広報物のデザイン度アップなど）	【3】【4】	(ア) ホームページの運用による情報発信 (イ) 館案内、リーフレット、パンフレット類の一新、館案内作成にあたり地元デザイナーにデザイン依頼 (ウ) リニューアルオープンのプレス発表 (エ) SNSの活用	— 6 6 —
	(2)外国語への対応（ホームページ、館内表示、スタッフなど）		(ア) 新潟市美術館 英語対応ホームページの運用 (イ) 英語版パンフレット、5か国語対応リーフレットの作成	— 6
	(3)国内外の美術情報の提供		(ア) チラシ、ポスター掲示によるPR	—
	(4)ミュージアムショップ、カフェの充実		(ア) ミュージアムショップ（ルルル）の運営 企画展に関連したグッズの開発・販売 (イ) カフェ（ロンブラージュ）の運営 (ウ) ショップ、カフェとの連絡会議の開催（月毎）	6 6 —
時代に即した弾力的な美術館経営	(1)企画展事業のマネジメント ①報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ②年間を通じて、収益率を意識した展覧会の企画・運営	【5】	(ア) 報道機関との展覧会の共同開催 「ラファエル前派展」 新潟日報社、BSNと実行委員会組織 「川村清雄展」 NSTと実行委員会組織 (イ) 年間企画展収益率 25.9% 歳出45,428千円 歳入11,778千円	1 1
	(2)新規の来館者を増やし、リピーターを獲得するためのしくみづくり	【4】	(ア) こどもスタンプカードの運用（再掲） （対象：中学生以下、4個で景品プレゼント） 新津美術館と共同運用 (イ) 県立近代美術館、万代島美術館との連携 （再掲）新潟アートリンク（スタンプラリー） (ウ) 夜間開館、フロアコンサートの実施	6 6 2
組織と人員配置および施設管理	(1)展示保存環境の堅持と必要な人員配置、および人材の確保・育成	【5】	(ア) 定期的な室内保存環境の検査 →(財)文化財虫害研究所へ委託 (イ) 各種研修への参加（著作権セミナー、文化財の保存環境に関する研修、ミュージアムエドゥケーター研修ほか）	5 —
	(2)施設機能の充実		リニューアルオープン（7月19日）に向けた準備 各種業務委託契約の締結及び業務実施	6
	(3)中・長期の継続的な事業活動を支えるため、直営形式による管理運営体制を維持		(ア) 直営形式による管理運営体制の維持	—

平成27年度 新潟市新津美術館事業報告

I 展覧会事業

1. コレクション展

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
4月11日～ 6月7日	春をうたう	春から初夏にかけての花や風景を、日本画、洋画、写真で紹介 (秋山庄太郎、東松照明、渡辺信喜、白井進、笹岡了一、代谷実、大矢黄鶴:各1点)	37,623	54	697
6月20日～ 8月23日	「ようこそ光のワンダーランドへ 魔法の美術館」	で展示室を使用したため、コレクション展の開催はなし。	-	-	-
8月29日～ 10月18日	絵のメッセージ	想像力を働かせて作品のメッセージを感じとれる作品を紹介 (関屋俊彦:2点、式場庶子、佐々木裕久、下村良之介、佐藤昭平、アルトゥル・ヨゼフ・コレビオフスキ、ヴァティム・メジボフスキヤン・レンギエル、ヨランダ・マルコオラ:各1点)	18,739	46	407
12月17日～ 1月16日	ふるさとの作家たち	新潟をふるさととする作家たちによる、新潟を描いた風景を紹介 (関屋俊彦:3点、佐野武次:2点、斎藤應志:2点、星野勇:6点、金井二郎、市村三男三、笹谷幸吉、近松一雄、福島長二郎、代谷実、西村満:各1点)	6,565	19	346
合計			62,927	119	529

※企画展・共催展・その他の展覧会の準備期間は全館閉館のため、コレクション展の開催はなし。

2. 企画展

(延人数単位:人、金額単位:千円)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
			歳入/歳出	収益率	
4月11日～ 6月7日	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展	日本のアニメーションの背景画家・美術監督として、数々の名作に携わってきた山本二三の初期から最新までの作品の中で、自らが選んだ作品を展示した巡回展。 ＜新津美術館・新潟日报社、UXの3者による実行委員会が主催＞	37,623	54	697
			10,771/5,000	215.4%	
6月20日～ 8月23日	ようこそ光のワンダーランドへ 魔法の美術館	音や光で作られた変幻自在な作品の中に飛び込み、「見て、触れて、遊ぶ」全く新しい体感型の展覧会。新素材や最先端のデジタル技術を駆使して手掛けた作品のほか、音や風といった美術館では普段あまり感じる機会のない表現を取り入れた作品など、国内外で活躍するアーティスト全11組による17点を展示した巡回展。 ＜新津美術館・新潟日报社、NSTの3者による実行委員会が主催＞	74,498	58	1,284
			12,113/6,000	201.9%	
8月29日～ 10月18日	デビュー30周年記念 さくらももこの世界展	さくらももこのデビュー30周年を記念して企画された展覧会。原画を中心に、色彩のカラーイラスト、アニメーション「ちびまる子ちゃん」の脚本原稿、ゆかりの品々などを展示した巡回展。 ＜新津美術館・新潟日报社、NSTの3者による実行委員会が主催＞	18,793	46	409
			3,430/5,000	68.6%	
10月24日～ 12月6日	東京工芸大学 写大ギャラリー開設40周年記念 土門拳写真展-古寺巡礼-	東京工芸大学開設40周年を記念して写大ギャラリーとの共同開催により、写大ギャラリーの中核コレクションのひとつであり、昭和写真界の巨匠である土門拳の作品を展示した自主企画展。	5,507	39	141
	東アジア文化都市2015 中国・韓国陶磁展 愛知県陶磁美術館所蔵品による	東アジア文化都市事業として、愛知県陶磁美術館の所蔵品から、悠久の歴史を持つ中国陶磁の完成された美、そして日本人にも大きな影響を与えた高麗・李朝の独自の美意識を展観できる陶磁器を展示した自主企画展。	4,679	39	120
			7,349/11,282	65.1%	
1月30日～ 3月21日	東区の隠れた名品展 新津美術館所蔵品展	新潟市東区内の学校や公共施設等が所蔵している「隠れた名品」、及び近年新しく新津美術館の所蔵品となった作品を展示した自主企画展。	3,396	46	74
				1,266/4,667	27.1%
合計			144,496	243	595
			37,007/35,224	105.1%	

※四捨五入あり

3. その他の主催展覧会

(単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
9月9日～ 9月23日	移動美術館	新津美術館の所蔵品を他地域の展示施設を会場に展示 星野勇・阿部一夫・市村三男三・猪爪彦一・小柳耕司・齋藤應志・笹谷幸吉・近松一雄・富川潤一・鳥居敏文・中川了吉・西村満(洋画)、金井二郎・櫛谷一代・高橋五仙子・中島萬木・三浦文治・吉原芳仙・渡辺富栄(日本画)、目黒順三郎・吉田志麻(版画)、続木睦二(工芸)計24点 会場:江南区郷土資料館展示室(江南区文化会館内)	966	14	69
合計			966	14	69

4. 共催の展覧会

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
1月4日～ 1月16日	第12回 新潟教育アート展	県内の保育園、幼稚園、小中学生、高校生の作品の展覧会	4,622	12	385
合計			4,622	12	385

5. その他の展覧会

(延人数 単位:人)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
12月17日～ 12月23日	第9回 秋葉区美術展覧会	秋葉区に在住・勤務する市民の作品による展覧会	1,943	7	278
合計			1,943	7	278

II 教育普及事業

1. 企画展関連

(延人数 単位:人)

企画展名	事業名	内容	参加者数
山本二三展	山本二三トークショー&サイン会 (4/11実施)	山本二三氏によるトークショー&サイン会 会場:新津美術館市民ギャラリー・レクチャールーム	130
	山本二三「背景画を描く」デモン ストレーション (4/12実施)	内容:山本二三氏が実際に背景画を制作する様子をトークも交えデモンストレーション。 会場:新津美術館市民ギャラリー	161
	アニメーション「ミヨリの森」上映 会 (4/18・5/17、2回実施)	内容:山本二三氏が初の長編映像の監督をつとめたアニメーション「ミヨリの森」の上映会 会場:新津美術館レクチャールーム	135
	ボランティアによる絵本の読みき かせ (4/26・5/24、2回実施)	朗読:当館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館展示室	25
	ミュージアムコンサート (5/30実施)	内容:スタジオジブリ作品の音楽を中心に、6人の演奏家が協演。 演奏:山崎由香氏(ソプラノ)、奈良秀樹氏・小島健弘氏(ヴァイオリン)、井口歩氏(ヴィオラ)、安倍新之助 氏(チェロ)、関田桂子氏(ピアノ) 会場:新津美術館アトリウム	143
	「希望の木」読み聞かせ (5/31実施)	朗読:当館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館展示室	36
	二三の日プレゼン (4/23・5/23実施)	先着100人に絵葉書プレゼント	—
	私の二三雲フォトシアター ～あ なたも展覧会に参加しよう～(会 期中)	内容:応募作品(雲の写真)を館内のモニターで上映	33作品
魔法の美術 館	ワークショップ「魔法の万華鏡を つくろう」 (7/20、午前午後2回実施)	内容:オリジナル万華鏡の制作 会場:新津美術館レクチャールーム	57
さくらもこの 世界展	ちびまる子ちゃんがやってくる【写 真撮影会】 (8/29・30、各日3回実施)	内容:ちびまる子ちゃんとの握手・撮影会 会場:新津美術館市民ギャラリー	635
	ボランティアによる絵本の読みき かせ (9/13・20・27、各日2回実施)	朗読:当館ボランティアスタッフ 会場:新津美術館展示室	132
土門拳写真 展	開催記念対談「土門拳と写大 ギャラリーコレクション」 (10/24実施)	講師:細江英公氏(写真家・東京工芸大学名誉教授)、吉野弘章氏(東京工芸大学教授) 会場:新津美術館市民ギャラリー	69
中国・韓国陶 磁展	記念講演会「中国と韓国の陶磁 の魅力」 (10/25実施)	講師:森達也氏(沖縄県立芸術大学教授、元愛知県陶磁美術館学芸課長、本展監修者) 会場:新津美術館市民ギャラリー	26
	ギャラリートーク (12/5・6、2回実施)	講師:長久智子氏(愛知県陶磁美術館学芸員) 会場:新津美術館「中国・韓国陶磁展」展示室	98
東区の隠れ た名品展・新 津美術館所 蔵品展	美術講座 (2/14実施)	「描かれた新潟の町」 講師:横山秀樹館長 会場:新津美術館レクチャールーム	17
	美術講座 (2/28実施)	「写真とファンタジー シュルレアリスムから秋山庄太郎まで」 講師:長島彩音(学芸員) 会場:新津美術館レクチャールーム	8
	美術講座 (3/13実施)	「新潟出身の琳派画家 池田弧邨」 講師:大森慎子主幹(学芸員) 会場:新津美術館レクチャールーム	18
	ミュージアムコンサート (2/20、2回実施)	演奏:Duo Anima 前田美華氏(チェロ)、加藤礼子氏(ヴァイオリン) 会場:新津美術館「東区の隠れた名品展」展示室	140
	学芸員によるギャラリートーク (1/3/5、2/3/12、2回実施)	講師:①横山秀樹館長、②長島彩音(学芸員) 会場:新津美術館展示室	33
合計			1,863

2. 学校向け教育普及事業

①出前美術館

(単位:人)

実施日	実施校 / 学級	内容	参加者数
6月3日	小新中学校 / 美術部	「誰にでも描ける! 簡単マンガキャラクターデッサン」 講師: 小池利春氏(新潟市マンガ・アニメ情報館副館長)	32
6月17日	升湯小学校 / 2・3年	同上	28
7月8日	金津中学校 / 総合学習クラス	同上	5
8月3日	新津第二小学校 / 1~6年	「誰にでも描ける! 簡単マンガキャラクターデッサン」 講師: 小池利春氏(新潟市マンガ・アニメ情報館副館長)	29
9月4日	小林小学校 / 6年	同上	30
9月15日	小林小学校 / 3年	イラストに挑戦「オリジナルのライオンをかいてみよう!」 講師: エイキ・ミナコ氏(絵本作家・イラストレーター)	25
9月30日	小林小学校 / 4年	同上	34
10月7日	金津中学校 / 総合学習クラス	「誰にでも描ける! 簡単マンガキャラクターデッサン」 講師: 小池利春氏(新潟市マンガ・アニメ情報館副館長)	5
10月8日	新津第五中学校 / 1・2年	同上	23
10月27日	鳥屋野小学校 / 5年	同上	138
11月4日	湯東西小学校 / 5・6年	同上	19
12月15日	新潟県立東新潟特別支援学校 / 3年・中学部	同上	15
実施計12校			合計 383

②学校のためのオープンギャラリー

(単位:人)

実施日	実施校 / 学級	内容	参加者数
6月25日	升湯小学校 / 5・6年	「魔法の美術館」の鑑賞及びグループ討議、発表	39
7月17日	笹口小学校 / 6年	同上	35
9月1日	曾野木小学校 / 4年	「さくらもこの世界展」の鑑賞及びグループ討議、発表	66
実施計3校			合計 140

③教職員視察研修観覧

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
4月11日～ 6月7日	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展	新潟市内の幼稚園・保育園や学校の教職員から、企画展を視察してもらい、授業での美術館活用・利用に役立ててもらったり、児童・生徒への美術館や展覧会を紹介してもらったりするための視察	3
6月20日～ 8月23日	ようこそ光のワンダーランドへ 魔法の美術館		11
8月29日～ 10月18日	デビュー30周年記念 さくらもこの世界展		12
10月24日～ 12月6日	土門拳写真展・古寺巡礼・中国・韓国陶磁展		2
合計			28

④博物館実習生の受け入れ

(単位:人)

実施日	内容	参加者数
8月17日～ 8月28日	学芸員資格取得にかかる実習生の受け入れ	5

3. 美術講座

※いずれも当館レクチャールームにて開催

(単位:人)

実施日	事業名	講師	参加者数
2月14日	描かれた新潟の町【再掲】	講師:横山秀樹(館長)	17
2月28日	「写真とファンタジー シュルレアリスムから秋山庄太郎まで【再掲】	講師:長島彩音(学芸員)	8
3月13日	新潟出身の琳派画家 池田弧邨【再掲】	講師:大森慎子主幹(学芸員)	18
実施計3回			合計 43

4. 子ども向け事業

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
4月25日、5月24日	ボランティアによる絵本の読み聞かせ(山本二三展)【再掲】	当館ボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせ 会場:新津美術館展示室	25
7月20日	ワークショップ「魔法の万華鏡をつくろう」【再掲】	内容:オリジナル万華鏡の制作 会場:新津美術館レクチャールーム	57
8月29・30日	ちびまる子ちゃんがやってくる【写真撮影会】【再掲】	内容:ちびまる子ちゃんとの握手・撮影会 会場:新津美術館市民ギャラリー	635
9月13・20・27日	ボランティアによる絵本の読み聞かせ(さくらももこの世界展)【再掲】	当館ボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせ 会場:新津美術館展示室	132
実施計4回			合計 849

III 調査研究事業

項目	内容
年報の発行	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。平成26年7月に、平成20年度から25年度の6年間の諸活動をまとめた「6年報」を発行。平成27年度より、毎年発行
研究紀要	美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして収載。新潟市美術館と共同で年1回発行。発行部数:300部 配布先:他の美術館や関係機関ほかに送付
東区の美術品の調査	東区内の学校及び公共施設等で所有または保管している美術作品について調査を実施し、展覧会の企画立案に役立てる。 <企画展>「東区の隠れた名品展」を開催

IV 収蔵保存事業

1. 美術資料の収集

①購入

区分	作家名(点数)
工芸 2点	玉川宣夫(1点)、三浦小平二(1点)
絵画 2点	岩田正巳(2点)
合計 4点	

②寄贈

区分	作家名(点数)
絵画 30点(うち版画20点)	杉森企観明(1点)、堀越保二(1点)、三浦文治(1点)、式場庶謳子(4点)、張替正次(23点)
工芸 2点	石山恵美子(2点)
合計 32点	

2. 作品の修復

作品名	内 容
富田温一郎《夏窓》 1926年	画面洗浄、破損部修復、裏打ち、パネル張り、表具直し
張替正次《尖閣湾》 2002年	カビ除菌
堀越保二《冬田》 1980年	剥落止、除菌、裏加工
榑谷一代《午後の万代橋漁港》 2007年	裏打、袋掛、貼込
榑谷一代《魚河岸の婦人》 2000年	裏打、袋掛、貼込
渡辺富栄《靴屋の親父》 1981年	裏打、袋掛、貼込
渡辺富栄《船を作る人々》 2013年	裏打、袋掛、貼込
三浦文治《昭和天皇巡幸記(スケッチ)》38点 1947年	台紙剥し、裏打

3. 収蔵・展示環境保全、作品管理

項 目	内 容
収蔵・展示環境保全	○収蔵庫、展示室の温湿度管理 ○浮遊菌数調査、虫害調査を実施(公益財団法人文化財虫菌害研究所へ委託)
作品管理	所蔵作品のカードデータ化、デジタルデータ化を実施

V 施設普及事業ほか

1. ミュージアムコンサート

※いずれも当館アトリウムで開催

(単位:人)

実施日	事業名	内 容	参加者数
5月30日	山本二三展ミュージアムコンサート【再掲】	内容:スタジオジブリ作品の音楽を中心に、6人の演奏家が協演。 演奏:山崎由香氏(ソプラノ)、奈良秀樹氏・小島健弘氏(ヴァイオリン)、井口歩氏(ヴィオラ)、安倍新之助氏(チェロ)、関田桂子氏(ピアノ) 会場:新津美術館アトリウム	143
12月19日	秋葉区美術展覧会ミニコンサート	秋葉地区在住及び通学、通勤の方々の美術の祭典である秋葉区美術展覧会において、来館者に素晴らしい生の音楽を聴いていただくとともに、秋葉区及び新潟市で活躍されている音楽家の方々の発表の場とする。 出演:新津市民合唱団 会場:新津美術館アトリウム	45
2月20日	東区の隠れた名品展・新津美術館所蔵品展ミュージアムコンサート【再掲】 (午前の部・午後の部)	演奏:Duo Anima 前田美華氏(チェロ)、加藤礼子氏(ヴァイオリン) 会場:新津美術館「東区の隠れた名品展」展示室	140
実施計5回			合計 328

2. 新津美術館ボランティアによる活動

(延べ人数 単位:人)

実施日	内 容	参加ボランティア数
5月16日	絵本の読みきかせ研修	8
6月29日～12月21日	ボランティアによる絵本の読みきかせ(山本二三、さくらももこの世界展) 9回【再掲】	52
4月～2月	イベントサポート(講演会、撮影会、ミュージアムコンサートなど) 計15回	69
5月～2月	広報補助(ポスター・チラシの封詰め、郵送作業補助)17回	73
実施回数 42回		合計 202

3. 利用者にやさしいサービス

(単位:人)

項 目	内 容	利用人数
「託児サービス」	会期中の第2・4の木曜・土曜日 10:00～12:00、他ミュージアムコンサート 対象:6ヶ月～未就学児 事前予約制 無料 <実績> 利用日数 7日	16
「こどもタイム」	館内にBGMを流し、親子で語り合いながら鑑賞できる時間帯を設定 会期中の第1・3の木曜・日曜日 10:00～13:00 <実績> 88日 ※「魔法の美術館」は毎日がこどもタイム	87,776
「あいてマデ～」	各展覧会会期中に1～2回、月曜日を閉館 <実績> 10日	4,276

5. その他

項目	内容
他施設との連携	○区内3施設連携による観覧料の割引 ・新津美術館、新潟市鉄道資料館、新潟県立植物園のチケット提示でそれぞれ団体割引
	○花ふるフェスタ協賛イベントの実施 ・新津観光協会等が中心となり県立植物園を会場に開催されるイベントで当日、観覧料を100円引き
	○フラワースタンプラリー ・新津美術館、新津フラワーランド、花夢里にいつ、他参加施設を巡るスタンプラリー
	○新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」 ・児童の作品を新津美術館に通年展示(月1回入替)
	○市内の他文化施設との連携 ・江南区郷土資料館で新津美術館《移動美術館》を開催
	○新潟市美術館との連携 ・両館の図録や絵はがきを双方で販売 ・研究紀要の発行 ・ホームページの相互リンク ・子どもスタンプカードの運用
	○NIIGATAアートリンク ・県立近代美術館・県立万代美術館、新潟市美術館・新津美術館の4館による連携 ・4館を巡るスタンプラリー
	広報の拡充
○秋葉区の商店街や理容・美容組合、医院、観光協会の他、江南区、南区、五泉市、月岡地区の事業所でもポスター配布等、広報活動を実施	

各論	具体策	理念との対応	平成27年度 実施内容	事業報告頁
他施設等との連携・交流	(1) 市民、他施設との連携協力 ①周辺施設、学校、市内の他施設との連携の充実	【3】	(ア) 秋葉区内3公共施設の連携による観覧料の割引 (新津美術館・新潟市鉄道資料館・新潟県立植物園) (イ) 花ふるフェスタ協賛イベントによる観覧料の割引 (ウ) フラワースタンプラリーの実施 秋葉区内や県内の参加店を巡るスタンプラリー (エ) 新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」で通年展示 (オ) 市内の他文化施設との連携 ・新潟市江南区郷土資料館で「移動美術館」を開催(再掲) (カ) 新潟市美術館との連携 研究紀要の発行 物販(両館の図録や絵はがきを双方で販売) 広報(ホームページで相互リンク) こどもスタンプカードの運用 (対象:中学生以下、4個で景品プレゼント) (キ) NIIGATA アートリンク 県立近代美術館・県立万代美術館、新潟市美術館・新津美術館の4館巡るスタンプラリー	6
	②ボランティアの活用・充実		(ア) 自主事業(絵本の読み聞かせなど) 10回 延べ60人 (イ) サポート活動(イベント等の会場設営、受付など) 15回 延べ69人 (ウ) 広報補助活動(ポスター、ちらし郵送作業) 17回 延べ73人 ※平成27年度登録者数 40名	6
	(2) 計画的な広報活動の実践による、美術館活動の周知 ①ホームページの充実・活用 ②様々な媒体を利用した周知	【3】	(ア) ホームページに分かりやすく情報を掲載 (イ) 美術専門誌や新聞、テレビ、ラジオによる広報 (エ) 近隣の区や他市等できめ細やかな広報を実施	6
健全なマネジメント	(1) 施設の効率的な管理運営 ①少ない人的資源の中で、安全で機能的・能動的な管理運営	【3】	(ア) 朝礼による日々の管理運営情報の共有 (イ) 定期的な館内ミーティングの開催 (ウ) 受付職員、監視員との朝礼、終礼の開催	— — —
	(2) 報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ①テレビ局・新聞社との連携	【3】	(ア) 実行委員会形式での開催 3回 「山本二三展」では新潟日报社・UXと実行委員会を組織 「魔法の美術館」「さくらももこの世界展」では新潟日报社・NSTと実行委員会を組織 (イ) その他の企画展の全てで新聞社と名義共催 3回 (ウ) テレビ局と名義共催 1回 「東区の隠れた名品展・新津美術館所蔵品展」(NST)	1
	(3) 年間を通じて、収益率を意識した展覧会の企画・運営 ①展覧会経費と収入バランスを認識し、職員全員が予算状況を把握	【3】	(ア) 共有ファイルを活用し、展覧会ごとの収支を職員間で情報共有 (イ) 年間企画展収益率 105.1% 歳入 37,007千円 歳出 35,224千円 ※年間入館者数 155,587人	— 1
組織と人員配置 および施設管理	(1) 美術館活動を充実させるため、必要な人員配置と職員研修の実施による人材の確保と育成 ①魅力ある美術館を目指すための、職員の相互協力	【2】【3】	(ア) 各種研修への参加(ミュージアムエドゥケーター研修、著作権セミナーほか) (イ) 職場研修の実施(接遇研修、AED講習ほか)	— —
	(2) 老朽化した設備などの計画的な改修 ①長期的な計画による予算措置	【2】	(ア) 展示室スポットライトの省エネ(LED)化 (イ) 空調設備の監視・制御装置の更新	— —
	(3) 中・長期の継続的な事業活動を支えるための、直営形式による管理運営体制の維持	【2】	(ア) 直営形式による管理運営体制の維持 (イ) 臨時職員の弾力的な活用	— —